

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 第88回 全日本男子ホッケー選手権大会

試合番号 14	備考 準決勝	年 平成 26	月 12	日 6	時間 13:00	場所 親里ホッケー場	ピッチ 人工芝 (W)
------------	-----------	------------	---------	--------	-------------	---------------	----------------

チーム名

名古屋フラーテル

試合		3	-	1
前半	1Q	0	-	0
	2Q	0	-	0
後半	3Q	2	-	1
	4Q	1	-	0

チーム名

立命館大学

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	4	1	中山 康大			
2	3	2	川上 良平			
3	✓	3	粥川 幸司			
4	✓	4	小野 知則			
5	3	5	佐々木 拓郎			
6	3	6	河内 伸仁			
7		7	GK 森嶋 彬			
8	✓	8	塩川 直人			
9	✓	9	藤本 一平			
10	5	10	山部 晃嗣			
11	✓	11	川上 啓			
12	✓	12	吉原 平太			
13	✓	13	山下 学			
14	✓	14	長澤 克好		33	
15	✓	16	畠山 学			
16	✓	(17)	橘 敏郎			
17	11	21	竹中 康悦			
18	✓	24	GK 新本 優			

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	✓	(2)	GK 吉田 勇作			
2	✓	3	津田 稜大			
3	✓	4	馬渡 祐輔			
4	✓	5	藤原 泉			
5	✓	6	河野 元秀	25		
6	10	7	林 巧馬			
7	✓	8	田中 世蓮			
8	✓	9	大橋 雅貴			
9	✓	10	植田 真人			
10	✓	11	落合 健太郎			
11	9	13	松田 崇史			
12	✓	14	木下 拓弥			
13		15	竹村 圭史			
14	9	17	三浦 怜真			
15		18	新井 大地			
16	✓	19	内田 健人			
17	21	22	内藤 幹			
18	9	23	亀井 涼平			

チャレンジ権の行使 (成功○、失敗×を記入)

時間					
判定					

チャレンジ権の行使 (成功○、失敗×を記入)

時間					
判定					

特記事項

監督 鹿野 育郎

アンパイア 成田 健一

リザーブアンパイア 戸塚 洋介

ジャッジ 府金 尚輝

ジャッジ 我妻 活美

監督 藤吉 陽之

アンパイア 高橋 英行

サジェスチョンUP 平尾 豊

サジェスチョンUP 千野 雅人

T. O. 馬場 治男

チーム	時間	No.	種	スコア
名古屋	32	12	FG	1-0
名古屋	33	1	FG	2-0
立命館	44	8	FG	2-1
名古屋	57	4	FG	3-1

チーム	時間	No.	種	スコア

チーム	時間	No.	種	スコア

<決勝>

得点	名古屋→9分畠山
戦評	<p>名古屋のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから名古屋は箕島陣内で優位にゲームを進める。一方、箕島はしっかりと守りながらカウンター攻撃を狙う作戦。最初のチャンスは、5分に箕島はMF坂本がFW大西のセンターリングをタッチシュートが、ゴールマウスをとらえきれない。じっくり攻める名古屋は8分、PCを獲得。FB畠山のフリックシュートはゴール右中段のサイドネットを揺らし、1-0と先制。その後も両チーム激しい攻防を続け、1-0の名古屋リードで第1Qを終える。</p> <p>第2Qも両チーム激しい攻防を続ける。25分、名古屋はFW河内がサークルトップからリバースシュートを放つも、枠をとらえきれない。その後は、両チーム決定的なチャンスを作ることができず、1-0のまま第2Qを折り返す。</p> <p>第3Q、追加点を狙う名古屋は39分、FW橘がサークル内でパスを受け、強烈なシュートを放つが、箕島GK清水が好セーブで防ぐ、そのリバウンドボールを名古屋のFW大門が拾いサークルインするも、再び箕島GK清水が好セーブで防ぐ。43分、箕島はPCを連続獲得。しかし、シュートまで繋げることができない。両チームチャンスを生かすことができず、第3Qも名古屋のリードは変わらない。</p> <p>第4Qも序盤から両チーム激しい攻防を繰り広げる。追いつきたい箕島は50分、FB佐々木がサークルインし、リバースシュートを放つも、枠をとらえきれない。56分、箕島はPCを獲得。FW北村がリバウンドをダイレクトシュートするも、ゴール上に外れる。攻撃を続ける箕島は、57分、パワープレーで猛攻するが、名古屋が堅守を見せ1点を守りきり、1-0で勝利。名古屋は3年連続18度目の優勝を決めた。</p>

テクニカルオフィサー	馬場治男	アンパイア	近藤聡史
	西上英雄		高橋英行
ジャッジ	我妻活美		
	尾木典隆		

【最終結果】

1位	名古屋フラーテル	3年連続18度目の優勝
2位	箕島クラブ	
3位	天理大学	
	立命館大学	

【最優秀選手】

橘 敏郎 (名古屋)